



2021年
1月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

謹んで新春をお祝い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。

お健やかに、新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍の対応に追われた一年でしたが、新年からも予断が許されない幕開けとなりました。そのような限られた環境の中であっても、子ども達の日々の成長は目覚ましいものを感じています。

子ども達にとって「新年」といわず、毎日の中に希望を持った生活をしてほしいと願ってやみません。

お友達のやっていることを見たり聞いたり、お話ししたり、真似たりして、一つ一つできることが増えていき、周りのお友達に認められ、気持ちよく次の事に向う。

しかし、そんな希望に満ちた時ばかりではなく、時には悔しくて泣くことがあっても、友達や大人達に支えられながら、もう一度試してみる。

そして自分が受けたようにお友達を支えていく・・・

子どもにとって、子どもを取り巻く子どもや大人達にとっても、希望に満ちた365日が過ごせるよう願っています。

本年も子ども達の心と体の健康を祈りつつ、職員一同一人ひとりの子どもの笑顔を座標軸に、「心の豊かさ」を育んで参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	
2才おめでとう	
3才おめでとう	
4才おめでとう	りほちゃん
5才おめでとう	まあやちゃん
6才おめでとう	りくくん いつきくん

1月の予定		
1	祝	休園
2	土	休園
3	日	休園
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	祝	成人の日
12	火	0才児健診
13	水	
14	木	
15	金	視力検査(3才) 171災害ダイヤル
16	土	
17	日	
18	月	幼児誕生会・新年会(獅子舞) ちゅっちゅこっこの会(乳児)
19	火	PPD
20	水	つくしんぼの会合同練習
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	ちゅっちゅこっこの会(幼児)
26	火	
27	水	つくしんぼの会合同練習
28	木	
29	金	豆まき はいチーズ撮影日
30	土	
31	日	

★印の日は、どなたでもご自由に参加いただけます
(予定は変更になる場合があります)

◇名札の着用をお願いします

うさぎ組(2才児)です よろしくね!

園庭ではオオカミごっこや追いかけっこ、室内では体操など寒さに負けず、元気いっぱい身体を動かして遊んでいるうさぎ組です。

室内では、ごっこ遊びが盛んになり、「うさぎぐ〜みさあ〜ん!」と先生役の子どもが声をかけると、だんだんとお友だちも集まってきて「は〜あ〜い!」とお返事子ども役になっています。先生役が絵本をお友だちに見えるように持ち、読み聞かせの真似をしたり、「こっちにすわってくださ〜い」と新たに先生役が加わり2人から5人、8人と集団での遊びに変化し、楽しむ姿がありました。お友だちの前で歌や手遊びを披露する発表会ごっこでも盛り上がっています。

井形ブロックでは、電車だけでなく「せんろつくる〜」と作り始めると、後から参加したお友だちからも「とんねるもつくるうよ!」とトンネルや駅も追加され、完成させたみんなで作った線路にたくさんの電車が رفتり来たりして遊んでいます。

これまでは、走らせている電車同士がぶつかってしまった時、お互い譲らず言葉が出ないで、行動が先になってしまう事もありましたが、最近では「とおらせて」「どうぞ」と自分の気持ちを言葉で伝えられることも増えたことで、お友だちとの遊びが広がり、イメージを共有し楽しむ姿がたくさん見られています。

こどものつぶやき ひよこ組(0才児)

ひよこ1組の子ども達は物を介して人とやり取りすることを楽しむようになってきました。

やりとり遊びの中に少しずつ言葉も出てきて、子どもから保育士に働きかけ、関わりを楽しく感じている姿が見られます。A君が「どうぞ」と言って、持っていた玩具を保育士に手渡してくれました。受取る際に「ありがとう」と言葉で伝えると気持ちが伝わったことが嬉しくて自分で拍手をして喜びを伝えてくれます。

私達も子どもからの「どうぞ」の言葉が聞きたくて「くださいな」と言葉をかけ先に手を出すと、恥ずかしそうに「…どうぞ」と言いながら渡してくれます。

言葉が通じる、気持ちにつながる瞬間、子ども達の嬉しい気持ちが伝わり、私達も心が温かくなります。



ぞう組(5才児)



うさぎ組(2才児)



ひつじ組(4才児)

今年もぞう組さんがサンタさんに手紙を書いたので、サンタさんが来てくれました。保育園の目印になる「大きなケーキ」を幼児3クラスで作成しお庭に置きました。「ほんとうにきてくれるのかなあ〜」とドキドキしながら待つ子ども達の耳に「シャンシャンシャン…」という鈴の音と共に赤いお洋服のサンタさんが見え「やった〜ほんとうにサンタさんがきた」と大喜びの子ども達でした。

”お手紙書いてくれて ありがとう ぞうぐみさん”



りす組(3才児)

「玄関引渡し訓練」について

予定表に記載されない「予告なし防災訓練」を9月から行っています。災害はいつあってもおかしくない状況です。職員へも日程は伝えていません。子ども達を守るため、緊急時の臨機応変の行動の為の訓練を行っています。

保護者の皆様へも、予告なく「引取りカードの提示」をお願いしておりますが、今一度、カードの名前を確認の上、常時携帯いただきますようお願い致します。

1月は、大災害(東日本大震災級の災害)を想定し、玄関にて引取り者の確認をさせて頂いてから、子どもの引取りとなります。

※引取りカードの携帯を

忘れずをお願いいたします。

有事の際の園外避難時の
たかさご保育園の目印となる旗です



たかさごの教育(人との関わり) 第9回

0歳児、ひよこ2組の子ども達は、身近な大人とわらべ唄や手遊びなどの触れ合いを通して関わることで、気持ちが安定し、安心して自分の気持ちを表現する姿が見られるようになっていきます。

遊びを通して、簡単な保育者の動きを真似ることやリズムに合わせて体を揺らして表現することを楽しみながら遊ぶ姿が見られ、また身近な大人との関わりを土台にして、自ら周囲の物(玩具や生活用品等)や友だちにも興味・関心を示し関わり楽しむ姿も出てきました。

時には興味が先に立ち、友だちが持っている玩具を取ってしまうこともあります。そうした時には「〇〇したかったのね」等とその行動に至る思いを大人が代弁し、気持ちを十分に受け止め、言葉や身振り・マカトサイン法などで自分の気持ちを伝えられるよう知らせています。自分の気持ちが受け入れられたことによって、次第に自分と他者の違いの認識ができ、相手の気持ちにも気づいていけるようになることが大切と考えています。